

スポーツを愛する全ての
クルマを走らせることの
楽しさを

NEW WRX

世界に誇る日本の高性能セダン、スバルWRXが新世代モデルに生まれ変わった。モーター
スポーツの国際舞台でその名をとどろかせてきたWRXの系譜を受け継ぎつつ、誰もがそ
のパフォーマンスを楽しむことのできる新時代のスポーツセダン「WRX S4」を新たに投入。走
りの性能を磨きぬいた「WRX STI」とともに、スバルWRXの世界をさらに広げてきた。絶大な
パワーを与えられながら、スキーなどのスポーツと同じようにそのコントロール性を楽しむことが
でき、さらにエコカー減税の対象となる環境性能、世界トップレベルの先進安全性能もそなえた
WRX S4は、次世代のスポーツセダンとして高い完成度を誇っている。より身近な存在となった
WRX S4と、一段とポテンシャルを高めてきたWRX STIの魅力を解きあかしていくことにしよう。



STI Type SはBBS製18インチ鍛造アルミ



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門ビルディング3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

スバル

新型
WRX

特集号



JCO8モード燃費
13.2 km/ℓ
エコカー減税対象車
※WRX S4の場合



先進の運転支援システムを搭載した 新提案のスポーツセダン

S4アクセサリ

WRX S4のスポーティ性や利便性を高める魅力的なアクセサリ類も豊富に用意されている。マルチファンクションディスプレイを第2画面として活用できる純正カーナビゲーションシステム、LEDでフロントを飾るアクセサリライナー、レッドのアクセント入りアルミホイールなどに加え、洗練されたSTI製のスポーツパーツも用意。セット装着が可能なSTIスタイルパッケージ、STIパフォーマンスパッケージも設定されている。



LEDアクセサリライナー/LED Fogランプ



STIパフォーマンスパッケージ



エキゾーストフィニッシャー

スバル WRX 主要諸元表	S4 2.0GT EyeSight	S4 2.0GT-S EyeSight	STI	STI Type S
変速機形式	スポーツリニアトロンニック(マニュアルモード付)		6MT	
駆動方式	AWD		AWD	
全長×全幅×全高(mm)	4,595×1,795×1,475 *1		4,595×1,795×1,475 *1	
室内長×室内幅×室内高(mm)	2,005×1,490×1,205		2,005×1,490×1,205	
ホイールベース(mm)	2,650		2,650	
トレッド 前/後(mm)	1,530/1,540		1,530/1,540	
最低地上高(mm)	135		140	
車両重量(kg)	1,540		1,480	1,490
乗車定員(名)	5		5	
最小回転半径(m)	5.5		5.6	
JCO8モード燃費(km/ℓ)	13.2		9.4	
エンジン型式	FA20		EJ20	
種類	水平対向4気筒 2.0ℓ DOHC 16/バルブデュアルAVCS直噴ターボ*1		水平対向4気筒 2.0ℓ DOHC 16/バルブデュアルAVCSツインスクロールターボ	
総排気量(ℓ)	1,998		1,994	
最高出力(kW(PS)/rpm)	221<300>/5,600		227<308>/6,400	
最大トルク(N・m(kgf・m)/rpm)	400<40.8>/2,000-4,800		422<43.0>/4,400	
燃料タンク容量(ℓ)	60		60	
使用燃料	無鉛プレミアムガソリン*2		無鉛プレミアムガソリン*2	
ステアリング形式	ラック & ピニオン式		ラック & ピニオン式	
サスペンション 前/後	ストラット式独立懸架/ダブルウィッシュボーン式独立懸架		ストラット式独立懸架/ダブルウィッシュボーン式独立懸架	
ブレーキ形式 前/後	ベンチレーテッドディスク/ベンチレーテッドディスク		ベンチレーテッドディスク/ベンチレーテッドディスク	
タイヤ	225/45R18		245/40R18	

*1:ルーフアンテナを含む数値。ルーフ高は1465mmになります。*2:無鉛プレミアムガソリンが入手できない時は無鉛レギュラーガソリンを使用することもできますが、エンジン性能は低下します。オプション装着により、車両重量などが変わります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

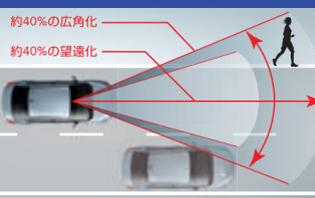
アイサイト ver.3と安全性能

WRX S4は先進安全システムであるEyeSight ver.3(アイサイト・バージョン3)を全車に搭載。カラー化されたステレオカメラと精度の高い認識機能により、前方の障害物をいち早く検知して衝突被害軽減ブレーキを自動させるなど、アクティブセーフティ機能を充実させている。また、全車速追従機能付クルーズコントロールは高速走行時などの疲労を軽減し、アクティブレーンキープ機能はカーブなどでステアリング操作をアシストして危険な状況に陥るのを未然に防いでくれる。さらにWRX S4、WRX STIともにサイド&カーテンエアバッグ、ニーエアバッグを含む7個のエアバッグを標準装備。ユーロNCAPやIIHSなど国際機関も高く評価する全方位の安全性能はしっかり受け継がれている。

アイサイト(ver.3)認識イメージ



ステレオカメラ認識範囲拡大イメージ図



WRX S4



WRX STI

スバルの走りのフラッグシップにふさわしい、「究極のドライビングパフォーマンス」

エクステリア

ワイド感を際立たせる前後プリスターフェンダーと、ボンネット上のエア・インレットが印象に残るWRXだが、空気抵抗を抑えた流麗なセダンフォルムも見逃せない。シャープな造形のヘッドランプとヘキサゴン形状のグリルがフロントスタイルを引き締め、リアはハイデッキのデザインと、ボディサイドまで回り込んだリアコンビネーションランプが存在感を強調。まとまりのいいスタイルの中に、力強いスポーツセダンのファクターを秘めた「機能美」に魅力を感じる人は少なくないはずだ。



ワイドローを強調したスポーティなフロントマスク

リアコンビランプもボディ幅いっぱいにレイアウト

コックピットデザイン

質感を一段と高めたインテリアも新型WRXの注目ポイントだ。本革巻のステアリングホイールとホールド性を重視したスポーツシート、視認性が高くスポーティ感あふれる大径2連メーターなど、走りたくなる演出にこだわる一方で、最新のディスプレイ機構やイルミネーションも積極的に配備。メーター中央のマルチインフォメーションディスプレイにはカラー液晶でSI-DRIVEやEyeSightなどの情報を表示し、ダッシュボード中央のマルチファンクションディスプレイにもさまざまな情報を表示。リアルタイムでクルマの状態を把握できるのが嬉しい。



本革巻ステアリングホイール

ステアリングスイッチ

本革巻シフトレバー

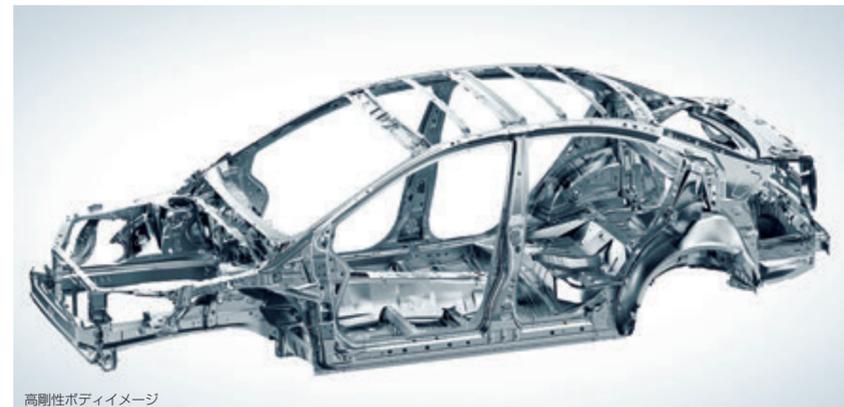
アルミパッド付スポーツペダル

パッケージとユーティリティ

先代WRXより全長が15mmだけ長くなったのに対しホイールベースは25mm伸ばされ、その多くを後席スペースの拡大にあてたことで大人4人が余裕をもって移動できる空間を確保。さらにドア構造やシート形状などを工夫することで室内スペースを稼ぎ、スポーツセダンの俊敏性を失うことなく快適な室内空間を得ているところに注目したい。トランクルーム容量は460ℓと先代WRX比で40ℓも増量され、トランクスルー構造により長尺物の積み込みも可能とするなど実用性も抜かりない。

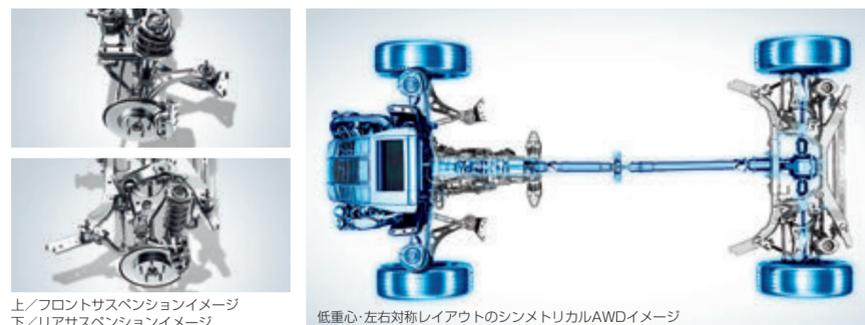
ボディ&シャシー

ワンランク上の走行性能を実現すべく、新型WRXはボディおよびシャシーを徹底的に強化。ボディは各部の補強、補剛、板厚アップなどで剛性を高め、操縦安定性を高めるとともに質感の高い走りを実現している。足回りはサスペンションパーツの剛性アップや軽量化、パネレートのアップ、ジオメトリーの最適化などによりレスポンスを向上させると同時に、リアグリップ性能を高めることでリアを「軸足」として使う次元の高いコーナリング性能を確保。さらに姿勢変化を最小限にとどめるフラットライドにより、操縦安定性を高めると同時に乗り心地も向上させ、同乗者を含め快適な移動を約束してくれる。安全性を高める専用のブレーキシステムも含め、高性能セダんにふさわしいシャシー性能を与えられている。



高剛性ボディイメージ

“走りの愉しみ”に向け徹底強化したボディ&シャシーがハンドリング性能を革新的なレベルにまで引き上げる



上/フロントサスペンションイメージ
下/リアサスペンションイメージ

低重心・左右対称レイアウトのシメトリカルAWDイメージ

Engineer's Voice

スバル商品企画本部
プロジェクトゼネラルマネージャー
高津 益夫さん



新型WRX S4はこれまでのWRXが持っていたスバルタンのイメージから抜け出し、洗練されたスポーツセダンという方向で仕上げられています。ホイールベースを25mm伸ばしたことで後席スペースも広がっていますので、ぜひ展示車などの後席にも座って、居住性のよさも確認していただきたいと思います。WRX STIは今まで培ってきたスポーツ性能はもちろん健在ですが、あわせて質感も高めていますので、そのあたりを見て触って確認してください。とはいえ、S4、STIともにやはり一番のポイントは「走りのよさ」ですし、そのコントロール性の高さは短い試乗時間でも必ず分かっていただけるはず。ぜひ試乗車のハンドルを握り、新型WRXの「ハイスベックだが乗りやすい」ところを味わってください。

WRX STI

国産車の最高峰に位置する高性能セダンに仕上げられたWRX STIは、磨き上げられたターボエンジン、鍛え上げられたボディ&シャシー、絶大なコントロール性能を発揮する4WDシステムなどにより、世界トップレベルのビュアスポーツカーに伍する性能を与えられている。パワーとコントロール性を高い次元でバランスさせたポテンシャルはサーキット

はもちろん一般路でも体感することができ、誰もがその高性能に触れられる点もWRX STIの美点のひとつだ。秘めた高性能を感じさせる専用エクステリア、ドライビングを支える専用ステアリングホイールや専用設計のスポーツシートなどに加え、7個のエアバッグを備えるなど安全性も確保。あらゆる点でトップレベルのスポーツセダンに仕上げられている。



STI TypeS

モータースポーツ直系 究極の走りのモデル

WRX STI メカニズム

WRX STIに搭載されるEJ20型2ℓ水平対向ターボエンジンは、長年受け継がれてきた高性能をさらにブラッシュアップし、レスポンスの向上を図るなどドライバビリティを一段と進化させている。組み合わせられる6速MTはシフトの操作感と正確さを高めるために「ディティント(戻り止め)」を追加。滑らかに吸い込まれるようなシフト感を満喫することができる。四輪へ駆動力を配分するマルチモードDCCD(ドライバーズコントロール・センターデフ)はスイッチひとつで走行フィールドに合わせた調整が可能で、サーキットから滑りやすい路面まであらゆる条件下でコントロール性を確保。ブレーキキャリパーはブレンボ製の対向ポット型を標準装備し、スポーツ走行でも安定した制動力を約束してくれる。



エンジン透かしイメージ

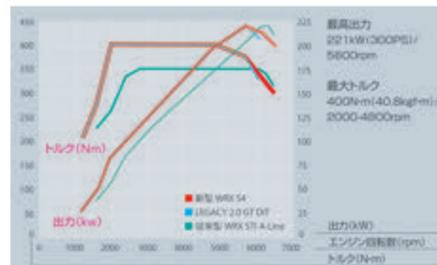
S4パワートレイン

レガシヤレヴオグで実績のあるFA20型2ℓ水平対向直噴ターボエンジン「DIT」を、さらに最適化してWRX S4に搭載。高回転域でのパワーとトルクの落ち込みを抑え、レプリミットの6500rpmまでストレスなく使える感覚は300psを誇るスポーツセダンにふさわしいものだ。エンジン特性を3モードで任意に変更できるSI-DRIVEによる使い分けが可能なのも嬉しい。一方でバッテリー電流の適正管理、オルタネーターの改良などにより効率を高めて燃費を向上。JC08モード燃費13.2km/ℓを実現し、S4はエコカー減税の対象車となっている。トランスミッションは300psにも対応するスポーツユニアトロニックを採用し、8速のステップ変速機構を持たせることで、よりスポーティな走行が可能となっている。



スポーツユニアトロニック

2.0ℓハイパフォーマンス「DIT」



従来のSTI A-Lineの2.5ℓのターボエンジンを上回るハイパワーを実現



ハイパフォーマンスを発揮する 新世代スポーツユニット